

平成27年度の学校自己評価アンケートの集計結果について(報告)

本校の教育活動について皆様のご意見をお聞きしまして、今後の教育活動に生かすことを目的にアンケートを実施いたしました。保護者の皆様、施設職員の皆様にご協力いただき大変ありがとうございました。回答状況は以下の通りです。

アンケート期間(10月22日～11月16日)			
保 護 者	98名【回答率68% 平成26年度と同じ】		
施設職員	17名	教 職 員	68名

集計にあたっては、アンケートの記入項目の「A：よくできている」と「B：まあできている」を合わせて積極的評価、「C：あまりできていない」と「D：全くできていない」を合わせてマイナス評価ととらえています。今年度の保護者・施設職員の方の集計結果につきましては、学校ホームページにも年度末に公開します。

保護者・施設職員の集計結果は以下の通りです。

(1) 昨年度と比較して、積極的評価の割合が高くなった項目		
保護者 施設職員	⑮ 懇談では先生からわかりやすい説明があり、保護者と積極的に相談し、連携しようとしている。	保(90%→97%) 施(81%→94%)
	⑯ 将来について考えることができる進路に関する情報提供や、相談等がもたれている。	保(80%→89%) 施(80%→100%)
	⑲ 学校間交流、ボランティアの活用、地域の方との防災教育の実施、また近隣の公民館や商店などの施設を積極的に利用した校外学習を行っている。	保(85%→94%) 施(95%→96%)

(2) 積極的評価が下がり、マイナス評価が高い項目 (※は評価は上がっているが、評価の低い項目 <評価ライン：85%未満>)		
保護者	④ 学校の施設は危険な場所がないよう安全に保たれている。	(91%→88%)
	⑭ 学年や学部が変わっても、引き継ぎができている。	(82%→78%)
施設職員	① ※学校全体として、児童生徒に関する情報の共有がなされ、組織として対応している。	(81%→82%)
	⑭ ※学年や学部が変わっても、継続的、計画的に指導している。	(62%→76%)

また、教職員と保護者・施設職員のアンケート集計結果を比較すると、全体的には積極的評価の割合は同じような傾向でした。

上記の学校自己評価の集計結果から、来年度に向けて、以下のことを重点に改善及び充実を図っていきます。

「支援の継続、引き継ぎ」



具体的な方針として、

- 個別の指導計画の様式を一部変更して、個別懇談等で保護者や施設職員の方と話し合う中で、より適切な学習の目標の設定を行い、そのための「手立てと支援」を中心に具体的にお伝えします。
- 支援の「つながり」と「継続性」を強く意識しながら、新入学・転入学の児童生徒に関しては、就学前の療育・教育機関や出身校との引継ぎをしっかりと行います。支援及び学習内容が適切に教育支援計画や指導計画に設定されていることかどうか、個別懇談等を通じて保護者や施設職員の方と話し合っていきます。

またアンケート結果から、来年度にむけて、以下の点にも取り組んでいきます。

- プレハブ棟はじめ老朽化した施設及び設備の使用には細心の安全に関する配慮を行っていきます。
- 今回高い評価であった「地域連携・地域資源の活用」は、今年度から取り組んだ防災学習を継続する中で、地域の方々に岡山西支援学校のことをもっと知ってもらい、本校の学習活動への理解啓発を図っていきます。
- 「学校だより」を活用して、保護者や地域の方々に本校の教育活動を積極的にお伝えするとともに、学校ホームページにも学校ブログ等でタイムリーな情報を掲載していきます。

◎自由記述によるご意見(要約)

保護者の皆様からの声

- ・ 訪問教育ですが、障がいのある子どもの教育については、とても良い印象をもっている。
- ・ 学校だより、支援室だより等々、学校からの発信が分かりやすくなっている。
- ・ 生徒のことを第一に考え、愛情をもって接してくれている。
- ・ (先生たちは)気持ちをくんで、対応して下さっているので、(子どもが)喜んで学校へ行く事が出来ている。
- ・ 連絡帳で一日の子どもの様子をくわしく知らせてくれている。
- ・ 普段の生活の中で生まれる児童生徒の素晴らしいエピソードがたくさんあると思うので、そういった児童生徒がいることをたくさんの方に知ってほしい。

(学校から) ご意見ありがとうございます。皆様のお声を励みに日々の教育活動に取り組んでまいります。

○要望的な意見として

1. 安全への配慮

- ・ 工事等で外遊び等の活動をなくさないようにしてほしい。(自転車や朝運動、体育など)
- ・ 全てに危険な場所を排除することは遊びの幅がせまくなるので今ぐらいでいいと思われる。
- ・ 健康や安全に関わる指導を高等部に、しっかり指導してほしい。
- ・ 来年度から、色々、工事がはじまるみたいなので、子どもの安全には気をつけてほしい。

(学校から) 来年度からの校舎建築工事等で、ご心配をおかけしています。本校では施設及び設備の使用には安全に配慮していきます。学校内での安全な過ごし方の指導や思いっきり遊んだり運動したりできるよう時程や活動場所を工夫していきます。

2. 教職員の電話や問い合わせ場面での対応

- ・連絡を入れた際、電話に出て下さった方が誰も自分の名前を名乗って下さらないので誰に言ったのかわからず、きちんと伝言が伝わっているか心配になる。
- ・就学奨励費など金銭的な説明は、プリントを読むだけでは、提出書類の書き方がよくわからなかった。

(学校から) 電話の対応で保護者の方に不安な思いをさせてしまい、申し訳ありません。教職員一同、保護者の方や外部の方からの電話や質問の対応には気をつけていきたいと思います。

また、就学奨励費については今後とも分かりやすい説明を行いたいと思います。なお、ご不明な点がありましたら、いつでもご連絡ください。丁寧に対応していきます。

3. 連絡帳について

- ・学習、運動、休み時間など子どもが、どのようにできなかったりできたりしているか、学校での様子がよく分かりません。時間割の内容でしたことはわかるようにしていただいています。
- ・学年、学部が変わると連絡帳を記入された先生が特にわかりませんので、出来ればサインをしていただければと思います。

(学校から) 連絡帳も保護者の方や施設職員の方に向けた大事な情報発信の1つと考えています。各部で連絡帳の活用のしかたは異なりますが、記入者の名前を明記するとともにお子さまの日々の生活の様子がお伝えできるように努めてまいります。

4. 教職員の専門性

- ・(教職員間で) 指導力、知識、理解に差がある。
- ・(実習時において) もう少し視覚的な支援を増やし子どもたちが自発的に動けるよう工夫してほしい。

(学校から) 特別支援学校の教職員として、今後とも研修や研究を行うことで専門性を高め、保護者の皆様と連携しながら、児童生徒一人ひとりの特性理解、わかる授業づくりに努めていきます。

5. 学校行事

- ・緊急時引き渡し訓練の折り、引き渡し後の通絡はどこを通ればよいかわかりづらかった。建物の構造がまだよくわかっていなかったこともあるが、もう少し誘導する先生を配置してほしい。やっと見つけた先生たちは、緊張感なくおしゃべりしていたことも気になった。
- ・防災訓練の放送を病院に来られた人が聞き、驚いていましたので、対応よろしく願います。この時は「訓練です」と伝えました。

(学校から) 学校行事への貴重なご意見ありがとうございます。来年度の取組の中に生かしてまいります。

6. 本校の教育活動に対する様々な意見

- ・一人一人の個性を生かした役割に気付くことが出来れば、(親として) 幸いです。(子どもには) どんな生きる方向が、適しているか? 明るい気持ちで、生活して生きてもらいたいです。
- ・授業参観に行っても、子どもはまだ落ち着いてない。

- 懇談時間が短い。
- 場所がないのは承知しているのですが、もう少し畑が近くにあると良いなあと思っています。
- 図書室に司書の先生を配置していただいて、もう少し活用できる場にして欲しいです。
- トイレの便座の除菌用アルコールの装置がずーっとこわれたままです。
- 学校行事年間計画の表が、文字が小さいし、読みづらい所もあるので、もうすこし大きなサイズにしてほしい。若い人ならよいが年配となると見づらいです。

(学校から) 本校の教育活動に関心をもってくださり、よりよい学校づくりに向けたいご意見をありがとうございます。すぐに改善できることは実践していきたいと思いますが、しかし、専任司書の配置や実習地(畑)の近距離化は同感ですが、県財政や地域の実情から困難なことはあります。

施設職員からの声

- 学校と連携して、今後も子ども達の成長を見守っていかねたらと考えています。
- 特性などに対する適切な対応を随時提示していますが、なかなか理解してもらえていないと感じることがあります。
- (高等部) 2 学期は実習もあり、行事が大変多い。

(学校から) 児童生徒の対応について、共通理解をして指導に生かしていけるよう努力してまいります。今後とも連携をよろしくお願いいたします。行事については、運動会を 5 月末に変更した関係上、28 年度の一年間を通して改善に向けた取組をしていきます。

アンケートご協力ありがとうございました